

さいたま川柳

第54回 さいたま川柳大会号

暑中風交



奥日光戦場ヶ原

平成30年(2018年)

8月号 (No.705)

日川協加盟

巻頭言

梅雨の大会といひごと

願法みつる

十月十日や十一月三日が、広域で晴天になることが多いとは思ふことだ。川柳大会も晴天天下で実施したいのが人情である。なのに、梅雨時期を選ぶ吟社もある。埼玉川柳社は第一回が五月の雨天で始まって以来、近年は六月を恒例としてきた。まさに梅雨の時節なので、通常は他社とは競合しないのだが、唯一の例外が日川協の大会。見方を変えれば、他所様が日川協の大会を長年避けておられたと言う事かも知れない。さいたま吟社は、ひねくれ屋とも言えるか。まさに今年は、熊本大会前夜祭の日であり、しかも予想通り、関東では梅雨突入の翌日だった。しかし梅雨の季節が水無月とは、なんとも無粋である。六月は旧暦の五月。今年は十四日が旧の五月一日に当たる。大会の日はまだ卯月。初夏の候。幸い好天だった。多くの方が熊本へ行かれたようだが、桶川にも懐かしいお顔とともに、初めての柳人も多数おいで頂き、交歓出来た。誌上大会へ全国から多数のご参加を頂いたことと併せて、本当に感謝の気持ちで一杯である。

大会スタッフは確実に加齢していた。しかし明るい顔で集合し、まさに歳を忘れての活動振りだった。皆それぞれに、体調や家族・家庭の事情の中で、今日を生きていた。さて来年はどうしよう。新しい年号を迎える年だ。

八月号 目次

表紙 (奥日光戦場ヶ原)	願法みつる	表紙	1
巻頭言	願法みつる	表紙	2
目次		表紙	2
川柳大会スナップ集		表紙	4
大会選者一覧		表紙	4
誌上大会・選者別入選句		表紙	9
川柳大会・課題別入選句		表紙	18
誌上大会入賞者・入選句		表紙	20
川柳大会各題三才句・入賞者		表紙	21
ご芳志御礼・大会スナップ		表紙	23
大会参加者一覧		表紙	24
わたしの好きな句	岡野 輝男	表紙	24
日日是好	願法みつる	表紙	25
彩玉集―同人吟		表紙	28
雑詠	願法みつる選	表紙	29
七七句	渡辺 梢選	表紙	35
大会案内 (東松山)		表紙	39
交替鑑賞 (七月号から)		表紙	41
題詠 六月締切「不便」「支える」「やつぱり」	林 マサ子	表紙	42
さいたま七月句会「がめついで」「記事」「食う」		表紙	44
「けんなり」「告白」「映像吟」		表紙	48
暑中風交		表紙	52
大会余話		表紙	52
編集さろん		表紙	52
句会案内		表紙	52